

共通のまちづくり目標

住民に開かれ自立するまちづくり

施策1 参画・協働

施策2 広報広聴・情報公開

施策3 人権

施策4 男女共同参画

施策5 行政サービスの提供

施策6 行政経営

施策7 広域連携

まちづくり目標	★住民に開かれ自立するまちづくり	政策	①協働の仕組みの構築
施策1	参画・協働		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
01-01 タウンミーティング	住民のまちづくりへの理解を深めることを目的に、町長と直接対話する機会として、町内3箇所(地域交流センター・いずみスクエア・文化福祉センター)でタウンミーティングを毎年開催する。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【政策推進課】	取組 住民参画の機会の充実			
		事業費	R1年度	45 千円
			R2年度	41 千円
01-02 (仮称)王寺町まちづくり基本条例制定	住民・議会・行政の役割を明記し、協働のまちづくりの基本ルールとなる「(仮称)王寺町まちづくり基本条例」を制定する。条例案作成にあたっては、公募住民もメンバーに含めた審議会を開催し、住民参加のもとで条例案を取りまとめ、令和2年12月議会での上程を目指す。	R1年度	R2年度	R3年度
継続【政策推進課】	取組 協働意識の確立			
		事業費	R1年度	4,157 千円
			R2年度	4,350 千円
01-03 地域自治協議会(まちづくり協議会)設立運営支援	地域が主体となって地域の課題解決を図るための組織として、その地域の特性に応じて多様な主体で構成される「まちづくり協議会」が設立運営されるよう、その仕組みづくりや支援制度を構築する。(まちづくり基本条例案の作成と並行して手法を検討)	R1年度	R2年度	R3年度
新規【政策推進課】	取組 地域を運営する新たな仕組みづくり			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
01-04 地域のリーダー養成講座	仕事をリタイアした高齢者の経験や資格をまちづくりに生かす等、協働のまちづくりの担い手となる地域のリーダーを養成するための講座を開催する。(まちづくり基本条例案の作成と並行して手法を検討)	R1年度	R2年度	R3年度
新規【政策推進課】	取組 人材の育成・確保			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円
01-05 合理的配慮の提供支援助成制度	地域住民の集う場である自治会館において、障害のある人に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用の助成を令和2年度より開始。障害のある人の社会参加を支援する。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【福祉介護課】	取組 コミュニティ施設への支援(地域の居場所づくり)			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	500 千円

施策2	広報広聴・情報公開
------------	-----------

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
02-01 「オープンデータ」ポータルサイト開設	行政の透明性及び信頼性の向上、また民間によるデータの二次利用に資するため、国(内閣官房)作成のガイドラインに沿って、町保有の情報のオープンデータ化を進める。令和2年度中に公式サイト上に掲載する。	R1年度	R2年度	R3年度
新規【政策推進課】	取組 オープンデータによる情報提供			
		事業費	R1年度	— 千円
			R2年度	— 千円

まちづくり目標	★住民に開かれ自立するまちづくり	政策	②お互いを尊重するまちづくり
施策3	人権		




事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
		R1年度	R2年度	R3年度
03-01 人権学習懇談会 継続【生涯学習課】	人権尊重のまちづくりに向けた地域社会の絆の構築を推進するため、王寺町人権教育推進協議会が主催する「人権学習懇談会」の開催を支援し、自治会や学校と連携協力して多くの住民が積極的に参加できるよう、内容や形態の工夫改善に努める。 取組 「人権学習懇談会」の開催	R1年度 R2年度 R3年度	R1年度 R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度 250 千円 R2年度 250 千円	
03-02 人権フェスタ 継続【住民課】	子どもたちから高齢者の方々まで自由に楽しく参加できる催し物を開催し、楽しい一日を過ごして頂きながら、人権の大切さを知る機会となるよう多彩な内容で実施する。 取組 「人権フェスタ」の開催	R1年度 R2年度 R3年度	R1年度 R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度 700 千円 R2年度 700 千円	
03-03 差別をなくす町民集会 継続【住民課】	あらゆる差別を許さない人権尊重の意識を深めていただくことを目的に、毎年7月の差別をなくす強調月間の期間中に開催する。 取組 「差別をなくす町民集会」の開催	R1年度 R2年度 R3年度	R1年度 R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度 350 千円 R2年度 320 千円	
03-04 学校での人権教育 継続【学校教育課】	自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるよう、人権教育を推進する。また、地域における偉人や伝統文化、自然等を取り入れた、身近で分かりやすい道徳教材を積極的に活用することにより、豊かな道徳性を育む。更に、福祉教育や読書活動を通じて、優しさや思いやりの心を育む教育を推進する。 取組 学校での人権教育	R1年度 R2年度 R3年度	R1年度 R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	
03-05 職員を対象とした人権研修会 継続【住民課】	町職員を対象に、人権問題の現状と今日的課題をテーマにした研修会を開催し、人権意識を高める。 取組 職員を対象とした人権研修会の開催	R1年度 R2年度 R3年度	R1年度 R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度 150 千円 R2年度 100 千円	
03-06 人権相談・特設人権相談 継続【住民課】	様々な人権相談に対応するため、定期的な相談窓口を開設する。 ・特設人権相談：6月「人権擁護委員の日」 7月「差別をなくす強調月間」 12月「人権週間」 ・人権相談：人権擁護委員により毎月第1・3月曜日開催) 取組 人権相談窓口の定期的な開設	R1年度 R2年度 R3年度	R1年度 R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度 — 千円 R2年度 — 千円	

施策4

男女共同参画

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
		R1年度	R2年度	R3年度
04-01 王寺町男女共同参画基本計画の策定	男女共同参画社会の実現を目指し、国・県の新計画(計画期間:令和3年度から令和7年度まで)を勘案して計画策定に取り組む。			
新規【地域交流課】				
	取組 町の指針となる計画の策定	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
04-02 王寺町女性活躍推進計画の策定	(王寺町男女共同参画基本計画に含めて策定)			
新規【地域交流課】				
	取組 町の指針となる計画の策定	事業費	R1年度 — 千円	R2年度 — 千円
04-03 王寺ミラクル100事業	子育て世代の女性の就労・起業、地域貢献の機会を提供し、「私らしく働きたい」女性を応援する自立したコミュニティーづくりを支援する。王寺マルシェの開催、ミラクルショップichigo経営(チャレンジショップ)により、女性の就業・起業支援など様々な機会を提供し、自主運営できるネットワーク組織づくり(人材の発掘・育成)を支援する。			
継続【地域交流課】				
	取組 人材の発掘・育成と組織づくり	事業費	R1年度 420 千円	R2年度 1,000 千円

まちづくり目標	★住民に開かれ自立するまちづくり	政策	③健全で効率的な行財政運営
施策5	行政サービスの提供		

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
05-01 RPAを活用した業務効率化の検討 新規【 総務課 】	業務の効率化と長時間労働の抑制を目指し、定型業務を自動処理する「ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)」の活用を検討する。令和2～3年度の間に調査・研究し、実証実験を実施する。結果を踏まえ、将来の本格導入へ予算化などを検討する。 取組 ICTを活用した事務処理の効率化・省力化	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
05-02 施設利用申請窓口へのタブレット端末導入 新規【 総務課 】	電子申請利用率の向上を目指し、窓口での施設利用申請にタブレット端末を活用する。令和元年度に検討を行い、令和2年度中のサービス開始を目指す。 取組 行政手続きのオンライン化	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	274	千円
05-03 マイナンバーカードを活用した行政サービスの研究 継続【 総務課 】	マイナンバーカードの利便性の向上を図るため、行政サービスにおけるカードの活用方法について、国が示す方向性や先進事例をもとに研究する。 取組 マイナンバーカードの普及	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	100	千円
05-04 AIを活用した住民からの問い合わせに対する自動応答システム(チャットボット)の運用 継続【 総務課 】	住民サービスの向上と職員の負担軽減に向けた取組として、「AIを活用した 住民からの問い合わせ対応業務の自動応答システム」を奈良県と共同で環境構築し、令和元年10月から運用開始。 取組 AI(人工知能)技術の活用	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	1,056	千円
05-05 窓口でのタブレットを使った音声翻訳アプリ活用検討 継続【 総務課 】	外国人に対し行政手続きの案内ができるよう、音声翻訳アプリをダウンロードしたタブレット端末を活用した窓口サービスの導入を検討する。 取組 外国人に対する行政サービス	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円

施策6

行政経営

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
06-01 公共施設等総合管理計画の改訂 新規【 総務課 】	公共施設のファシリティマネジメントを目的として、令和2年度に個別施設計画を策定する。また、個別施設計画に記載した対策の内容を、令和3年度に総合管理計画(令和元年度策定済)に反映させるなど、不断の見直しを行っていく。 取組 「公共施設等総合管理計画」の実行	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
06-02 電子決裁システム導入の検討 新規【 総務課 】	現在の紙ベースを主体とする一連の決裁行為を電子化することを検討して、本町にとって効果的な文書管理システムの方向性を令和3年度までに見出し、文書管理の効率化を図る。 取組 行財政改革の推進	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
06-03 水道庁舎跡地整備事業 継続【 上下水道課 】	県営水道による全町配水への移行により廃止することとなった第1浄水場跡地の有効利用に向けて、貯水池、配水池等の構造物解体及び受電設備、ポンプ設備等の機器類撤去を行う。 取組 「公共施設等総合管理計画」の実行	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	313,500	千円
06-04 ふるさと納税の推進 継続【 政策推進課 】	自主財源の確保と特典品による町のPR、商業振興を目的に、寄附額の増加と特典品の充実を目指す。また企業版ふるさと納税について、令和2年度税制改正により、企業側が利用しやすくなったことから、町事業を積極的にPRして、寄附を募る。 取組 自主財源の確保	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	16,538
		R2年度	17,234	千円
06-05 中期財政計画の更新 継続【 政策推進課 】	人口減少社会、少子高齢化による税収の減少と社会保障費の増加が見込まれる中、重点事業とその優先順位を明らかにして、将来にわたり健全な財政運営を堅持するための中期財政計画を毎年更新する。 取組 計画的な財政運営	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
06-06 人事評価システムの見直し 新規【 総務課 】	現行の人事評価システムを見直し、令和2年度中に業務の成果を処遇に反映することを重視しつつ、評価結果から賞与・昇給まで明快なルールに基づいて運用できる新しい人事評価システムを構築する。また、評価者、被評価者に制度への正しい知識を浸透させるための研修を実施する。 取組 職員の育成	R1年度	R2年度	R3年度
				
		事業費	R1年度	—
		R2年度	830	千円

施策7

広域連携

事業名【担当課】	事業概要	実施時期・事業費		
07-01 「奈良モデル」の推進 継続【政策推進課】	奈良県との「まちづくりに関する連携協定」に基づき、王寺駅周辺地区のまちづくりの計画立案と事業化を推進する。また、水道事業の広域化はじめ、県と市町村が連携・協働して行政課題を解決していく「奈良モデル」を積極的に活用する。 取組 「奈良モデル」の推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
07-02 公共施設の相互利用の推進 新規【総務課】	近隣自治体との広域的な公共施設の相互利用の可能性について、各施設の機能を見極めた上で近隣市町と協議を行いながら検討し、住民の利便性の向上と利用機会の創出等の住民サービスの向上を目指す。 取組 公共施設の相互利用の研究(文化施設、スポーツ施設、福祉施設等)	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	—
		R2年度	—	千円
07-03 聖徳太子1400年御遠忌プロジェクト 継続【地域交流課】	令和元年度に引き続き東京と福岡で「王寺町PR講演会」を開催する。また聖徳太子ゆかりの市町村との連携のもと、「聖徳太子1400年御遠忌プロジェクト」を推進し、観光振興を目的としたイベントを開催する。 取組 聖徳太子ゆかりの地としての連携推進	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	1,200
		R2年度	14,900	千円
07-04 病児保育の実施 継続【子育て支援課】	近隣町との広域連携により、令和2年1月に地域の中核病院である奈良県西和医療センター内に病児保育施設を開設。今後、施設が不足すると見込まれる際は、新たな病児保育施設の誘致等を検討する。 取組 「奈良県西和医療センター」における病児保育の実施	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	4,956
		R2年度	3,999	千円
07-05 すむ・奈良・ほっかつ！PR事業 継続【まちづくり推進課】	北葛城郡4町が抱える人口減少問題や地域の賑わい低下等の課題解決のため「すむ・奈良・ほっかつ！推進協議会」を設立し、スケールメリットを活かした地域プロモーションに取り組んできた。令和2年度からは、情報発信を目的とした4町共有のHPを充実させることを中心に取り組んでいく。 取組 行政課題に応じた連携協力	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	2,000
		R2年度	350	千円
07-06 DMO組織づくりに向けた検討 継続【地域交流課】	周辺自治体と連携しながら、各町の役割を見定め、「交通の強み」「宿泊の強み」「観光地の強み」等を活かして西和エリアの活性化を図る。この分野を研究されている高橋教授(近畿大学)の指導のもと関係団体等を交えて勉強会を行う。 取組 日本版DMOの組織づくり	R1年度	R2年度	R3年度
		事業費	R1年度	1,000
		R2年度	—	千円